

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 川崎幸教室			
○保護者評価実施期間	令和7年9月15日 ～ 令和7年10月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	82	(回答者数)	78
○従業者評価実施期間	令和7年9月15日 ～ 令和7年10月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	29
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年11月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用者が安心して楽しく通所している	・子どもの気持ちや状況に寄り添って、支援を行うように努めている。	・子どもの安心感から保護者の安心感につながるよう に相談支援をより一層充実させていく。 ・研修等により支援内容や支援方法の質の向上に努 めていく。
2	・職員が連携し、チームで支援を行うことができる	・ミーティングや書面、普段のコミュニケーション により子どもの特性や支援内容等の情報共有ができ るように努めている。 ・「報・連・相」が確実にできるように努めてい る。	・より確実に、わかりやすく情報共有ができるよう に、その方法について検討していく。 ・振り返りを大事にし、より良い支援につなげてい かれるように努めていく。
3	・プログラムや個別課題の充実	・5領域がバランスよく組み込まれるように考え たり、児童の実態に応じて内容や支援方法などを工夫 している。	・子どもの特性や実態に合わせてどのようなアプ ローチが有効かを深めていけるように取り組んでい く。 ・さらに情報収集に努め、実施できるプログラムや 個別課題を増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・トイレが少ない、クールダウンや個別対応の部屋 がない、などの環境	・建物の物理的に難しい。必要時には放デイの児童 が児発のトイレを使用するなど対応している。 ・常時の使用は難しいが、必要時に個別に対応でき るように工夫している。	・配置の工夫や仕切りの設置など、できる限り適切 な環境を提供できるように工夫していく。
2	・外部や地域との交流が少ない	・交流の機会を設けるのが難しい。	・お出かけや公園で遊ぶ際など日常の中で交流がで きるように意識していく。 ・交流の機会の設け方について会社と相談してい く。
3			